

●調査の概要  
 ①調査方法 12月に行われた市民満足度調査と併せて、無作為に抽出した市民1,000人を対象に郵送方式で実施。自由記入項目を含む31項目から1人につき3項目を選択する形式を採用しました。  
 ※11月30日付けで調査票を発送。  
 12月15日現在の集計結果を掲載しています。  
 ②回答状況 有効回答者数395名 回答率39.5%

- 7月**  
 4日・㈱ビッグレンタルとの間で災害時に必要な物資をレンタルする災害協定を締結  
 5日・定例教育委員会で公立小中学校への2学期制導入が承認。平成19年度から実施  
 8日・文化フォーラム「戦いすんで日は昏れず」開催  
 13日・白石中学校、東中学校、福岡中学校の生徒による「PSCパトロール」が発足  
 22日・さわやかフェスティバル  
 23日・白石しらゆり会手話サークル主催の手話劇開催。20年の歴史に幕
- 8月**  
 3日・市内の中学生12名が姉妹都市の豪州ハーストビル市を訪問(～13日)  
 5日・当市出身の教諭が指揮する千葉県君津市の合唱団、ホワイトキューブで里帰り公演  
 10日・ボーチパークにうーめん店「味右衛門」が開店  
 11日・2006白石夏まつり(～20日)  
 19日・白石城本丸内で市民手づくりのイベント「夏の祭典スペシャルat白石城2006」開催  
 ・海老名・白石少年少女野球交流大会  
 22日・越河地区で自主防災組織連合会を設立
- 9月**  
 1日・沢端川にデッキ広場を整備。白石城から商店街に至る回遊ルートの整備開始  
 ・しろいしエコプロジェクトの一環として「市内一斉小中学校ごみ分別学習作戦」を実施(～11月)  
 ・情報センター「アテネ」リニューアル  
 17日・20回の記念大会を迎えたみやぎ蔵王高原マラソンに市内外から1,200人のランナーが参加。ゲストランナーとしてソウルオリンピック日本代表の浅井えり子さんが出場  
 ・第12回姉妹都市国際親善水泳大会  
 ・南町自治会と東北大学が協力して地震防災ワークショップを実施  
 21日・第49回白石市小学校体育祭
- 10月**  
 1日・姉妹都市の豪州ハーストビル市からピンス・バダラティ市長をはじめとする一行が当市を訪問(～8日)  
 ・白石ギネス流しうーめん実施(主催:同実行委員会)。1,802mの世界新記録達成  
 ・白石藩倶楽部(ふあくらぶ)事業開始  
 ・ホワイトキューブで「第51回手をつなぐ育成会宮城県大会in白石」開催  
 8日・弥治郎こけし村ふれあい祭り  
 ・第78回白石市民体育大会  
 14日・白石城刀剣展(～12月17日)  
 15日・越河小学校を中心に、宮城県と共催で土砂災害防災訓練を実施  
 ・国内唯一の国際公認クラシックカーレース「ラ・フェスタ ミッレ ミリア」参加車が当市を通過、白石城が2年ぶりにスタンプポイントに  
 ・不忘元気の会が主催した「不忘オタムフェスタ」開催  
 20日・第3回白石城下きものまつり(～22日)  
 21日・豪州ハーストビル市との姉妹都市締結12周年を記念した「第7回白石市友好の翼」の一団が豪州を訪問(～28日)  
 ・市内の中学生2名が札幌白石区で行われた「第37回白石区中学生の主張発表会」に参加  
 22日・白石城茶会  
 28日・第37回白石市民文化祭(～11月3日)  
 29日・第8回福祉まつり
- 11月**  
 3日・第28回白石市農業祭(～4日)  
 9日・札幌白石区の中学生2名が白川中学校での主張交流のため来訪
- 12月**  
 3日・中央公民館で「みやぎ国際協力のつどいin白石」を開催  
 7日・叙勲祝賀会  
 31日・白石城「除夜の鐘を鳴らす会」

# 市民が選んだ 平成18年10大ニュース

平成18年は市民の皆さんにとってどのような年でしたでしょうか。市では12月に実施した市民満足度調査と併せ、一般市民を対象としたアンケート調査を今年度から実施しましたので、その結果をお知らせします。「薬師の湯」の誕生や介護保険料の改定など、今年も話題に富んだ一年となったようです。平成19(2007)年が市政、そして皆さんにとってさらなる飛躍の年となることを期待しています。

**6位 (74票)**

スパッシュランド大吊橋が完成 (4月6日)



▲4月6日に行われた開通式

小原地区の温水プール施設「スパッシュランドしろいし」と、白石川を挟んで対岸にある公園「スパッシュランドパーク」を結ぶつり橋が完成し、4月6日に開通式が行われました。「スパッシュランド大吊橋」と名付けられたこのつり橋は、両施設の相互交流促進により地域活性化を図る観光拠点として整備されたものです。

**7位 (55票)**

6～7月にかけ、みやぎ生協や㈱ビッグレンタルとの間で災害時に必要な物資を供給・レンタルする災害協定を締結



▲6月8日に行われたみやぎ生協との協定書調印式



▲7月4日に行われた㈱ビッグレンタルとの協定書調印式

今後30年の間に99%の確立で発生すると予測されている宮城県沖地震などの大規模地震に備えて、市ではみやぎ生活協同組合や㈱ビッグレンタルとの間で、災害時に必要な物資や移動式トイレなどのレンタル機材を優先的に供給してもらうなどの災害協定を締結しました。市では安心・安全なまちづくりに向けた取り組みを今後も継続していきます。

**8位 (54票)**

7月の定例教育委員会で平成19年度からの公立小中学校2学期制導入が承認 (7月5日)

7月5日に行われた定例の教育委員会で、平成19年度から市内すべての公立小中学校で2学期制を導入することが承認されました。これは、児童・生徒の学習活動や学校生活におけるゆとりの確保と、学ぶ意欲の継続性維持などの効果を期待したものです。

**9位 (44票)**

公立刈田総合病院の「マタニティーホーム(院内助産所)」で初の出産 (1月13日)



▲出産第1号となった福島市の根本さん

平成17年10月に東北で初めて「マタニティーホーム(院内助産所)」を開設した公立刈田総合病院。平成18年1月13日、出産第1号となる元気な赤ちゃんが誕生しました。分娩にはお父さんと2歳になる上のお子さんも立ち会い、3,236gの元気な男の赤ちゃんを無事に出産しました。マタニティーホームでは、これまでに10人の元気な赤ちゃんが産まれています。

**10位 (40票)**

下水道使用料金改定、基本料金100円、超過料金は各段階10～15円の増額 (4月1日～)

地理的な条件などのため、下水道使用料の一部を国の地方交付税で賄っていた当市。地方交付税算定方法の見直しを受けて4月使用分からの料金改定を検討した結果、新料金は基本料金100円、超過料金は10～15円の増額となりました。この金額は、交付税算定方法の変更が与える市民サービスへの影響と市民の負担を最小限に抑えようと設定されたものです。

**11位以降**

11位は6月以降、公共施設をはじめ市内各所で発生した車上荒らし事件でした(39票)。手口としては車のガラスを割ったり、かざ穴を壊すなどして車内の現金や通帳、カードなどを盗むというものです。その後被害は沈静化しましたが、今後も貴重品の管理などには十分注意してください。以下、12位は白石中学校、東中学校、福岡中学校の生徒による「PSCパトロール」発足(7月13日、34票)、13位はしろいし安心メール配信開始(3月1日～、27票)と続きます。

**1位 (164票)**

福岡蔵本の「かんぼの宿白石」を市が購入、市民全体の健康増進施設開設へ (5月23日)



▲春から「薬師の湯」へ!

平成18年3月末に営業を終了した福岡蔵本字薬師堂地内の「かんぼの宿白石」。市では、この施設の利活用について検討を重ねた結果、土地と建物を日本郵政公社から取得し、市民全体の保養・健康増進拠点として再生することとしました。施設運営の担い手は、平成18年11月29日に設立された新設社会福祉法人「白石ひまわり」。新施設は「薬師の湯ひまわりセンター」(愛称:薬師の湯)と名付けられ、改修工事を経て平成19年の春からオープンする予定です。

**2位 (103票)**

介護保険料改定、平成18～20年度の基準額は922円増の月額3,550円に (4月1日～)

平成17年6月に改正された介護保険法。「介護予防」の導入や地域包括支援センターの新設など、大幅な制度見直しが行われました。市では、3年の事業計画期間ごとに見直される65歳以上の介護保険料について算定したところ、平成18年4月の改正法施行に伴う新規事業費や高齢者数・介護給付費の増加などのため、平成18～20年度の基準額をやむを得ず、前回比922円増の月額3,550円に決定しました。

**3位 (99票)**

2月議会定例会で議員定数を24から21に削減する条例改正案が可決 (2月14日)

平成16年の12月議会定例会で設置された「議会改革調査特別委員会」。議員定数や議員報酬などについて幅広く論議され、慎重に検討を重ねた結果、現行の「24」から「21」に定数を削減することで意見が一致しました。常任委員会についても現行の4つから3つに削減(「産業経済」と「建設水道」を「建設産業」に統合)することが決定。委員会での決定事項は2月議会に提出され、全会一致で可決しました。今年の統一地方選挙から実施されます。

**4位 (89票)**

公立刈田総合病院が仙台市以外では県内初となる生体腎移植を実施 (6月28日)



▲6月28日に行われた手術

公立刈田総合病院では6月28日、慢性腎不全の20代の患者に、60代の父親の腎臓を移植する手術を仙台市以外では県内で初めて実施しました。移植手術には岡崎院長をリーダーとする約20名の医療スタッフが参加し、7時間に及ぶ手術を無事に終えました。同病院では新築移転後、移植を専門とするスタッフや医療機器の充実と診療技術のレベルアップを図り、今回の腎臓移植をはじめとする高度医療を地域住民に提供するに至ったものです。

**5位 (78票)**

白石ギネス流しうーめん実施、1,802mの世界新記録達成 (10月1日)



▲見事世界一の記録を樹立!

流しうーめん1,802mのギネス記録を作り、白石の魅力の世界にPRしようと、「白石ギネス流しうーめん実行委員会」が主催した記録会が10月1日、白石スキー場で開催されました。約150本の竹を半分に分けて節を抜き、細い竹で土台を組んで作ったコースに流されたうーめんは57分52秒後、無事ゴールへとたどり着き、見事世界新記録を達成しました。

2006年の主な出来事	
※大字は10大ニュースの候補項目	
<b>1月</b>	1日・白石城一周元旦マラソン、初日の出を拝む会 2日・こけし村でこけしの初焼き 8日・平成17年度成人式 9日・白石市消防団出初め式 13日・公立刈田総合病院の「マタニティーホーム(院内助産所)」で初の出産 15日・碧水園「舞台びらき」 23日・大平地区安心パトロール隊発足
<b>2月</b>	13日・市民団体が市立博物館早期建設の要望書を市に提出 14日・2月議会定例会で議員定数を24から21に削減する条例改正案が可決。平成19年の統一地方選挙から適用 20日・2月議会定例会で平成18年度の当初予算承認。予算総額は2年連続で減少(～3月3日) 22日・姉妹都市・北海道登別市の文化協会員22名が、協会創立40周年記念事業の一環として当市を訪問(～23日) 24日・姉妹都市・神奈川県海老名市の中学生170人が当市を訪問。白石中学校の生徒と体験学習を通じて交流 26日・すまいるひろばに隣接する蔵が「ギャラリーカフェ 蔵楽」としてオープン 27日・白石市行財政改革推進計画(集中改革プラン)策定 ・市税滞納者の差し押さえ物件、インターネットでの公売を開始
<b>3月</b>	1日・しろいし安心メール配信開始 10日・第25回公民館まつり(～12日) 13日・毎日新聞社「毎日・地方自治大賞奨励賞」伝達式
<b>4月</b>	1日・介護保険料改定、平成18～20年度の基準額は922円増の月額3,550円に ・下水道使用料金改定、基本料金100円、超過料金は各段階10～15円の増額 ・特色ある農林業展開と集落農園の組織化促進を目指した「地域農業いきいき推進事業」開始 ・就労保護者のいる小学生を対象とした「放課後児童クラブ」を開設 6日・スパッシュランド大吊橋が完成 13日・田舎暮らし体験ツアー開催(～14日)。10月7日～8日にも実施
<b>5月</b>	3日・2006白石市民春まつり ・第48回全日本こけしコンクール(～5日) 20日・市内の空き店舗を利用した初めての手作り市を開催 21日・すまいるひろばオープン1周年を記念した「白石城下生き絆フェスティバル」開催 23日・福岡蔵本地内の「かんぼの宿白石」を市が購入、市民全体の健康増進施設開設へ
<b>6月</b>	1日・市内で車上荒らし事件が相次いで発生 ・白石市企業立地促進条例制定、施行 ・ISO14001の認証更新を取りやめ、独自に「しろいしエコプロジェクト」を開始 8日・みやぎ生協との間で災害時に必要な物資を供給する災害協定を締結 ・白石城本丸内で「白石城新能」を開催 26日・国土交通省七ヶ宿ダム管理所との間でダム警報設備を活用した災害情報伝達支援協定を締結。安心メールでのダム放流情報の配信を開始 28日・公立刈田総合病院が仙台市以外では県内初となる生体腎移植を実施